



令和2年度 冬号



# としょかんだより 高学年向け ブックリスト

あいおいしりつとしょかん ☎0791-23-5151



12月のことを日本の古い月のよび方で「師走」と言います。ふだんはしずかに歩いている「師」(=お坊さんや先生)が走り回るくらい年末はいそがしい、という意味です。今年はいろんなことがあり、とってもたいへんな一年でしたよね!

年末くらい、のんびりと本を読んですごしてもらいたいものです。



## クリスマスの本



### 『クリスマス・キャロル』

チャールズ・ディケンズ//岩波書店//93-デ



イギリスのロンドン下町で暮らすスクルージは、ケチでつめたい初老の男性。金もうけのことしか考えていない彼は、家族に見はなされ、友達もいない。

ある年のクリスマスイブのこと。うかれる町の人々をしりぬに、1人ぼっちで過ごすスクルージのもとに、7年前に死んだしょうばい商売なかま、マーレイの幽霊ゆうれいがあらわれる。マーレイは「きんせんよく金銭欲やぶつよく物欲にとりつかれた人間がたどるうんめい運命」を教えに来たという。マーレイが連れてきた精霊と共に過去、げんざい現在、すがた未来の自分の姿を眺めるスクルージ。彼が見た自分の人生の末路とは…。世界中で愛される、クリスマス・ストーリーの名作。

### 『パディントンのクリスマス』

マイケル・ボンド//福音館書店//93-ボ

なんべい南米のペルーから、イギリスのロンドンにたどりついた、くまのパディントン。お世話になっているブラウン一家では、いつもしっぱい失敗やさうどうをまき起こします。でもブラウン夫妻も、ジュディとジョナサンの姉弟も、パディントンが大好き。彼がいなかったころのことなんて、考えられないくらいです。もうすぐパディントンといっしょにすごす、はじめてのクリスマス。もちろん、なにも起こらないわけがありません。

ブラウン一家にかんしゃの気持ちをこめて、プレゼントをようい用意すると決めたパディントン。こうきゅう高級デパートに買い物に行くみただけけれど…。だいじょうぶでしょうか。



# 本の世界で大冒険しよう！

## 『シャクルトンの大漂流』

ウィリアム・グリル//岩波書店//29

20世紀の初め、GPSもスマホもない時代のこと。アーネスト・シャクルトン隊長が率いるエンデュランス号は、南極をめざしてイギリスから出航した。まもなく巨大な流氷にはばまれて、船は海の真ん中で身動きが取れなくなってしまう。

たび重なるブリザード、船の故障、食糧不足、けがや病気、ヒョウアザラシの襲撃…。だが、氷上にとりのこされた28人の乗組員たちは、決してあきらめなかった。実話にもとづく、サバイバル・ストーリー！



## 『ブロード街の12日間』

デボラ・ホプキンソン//あすなろ書房//93-ホ

ヴィクトリア朝時代、ロンドンのブロード街で「青い恐怖」と呼ばれる病が発生する。この病は後にコレラとわかるが、医学が発達していない1880年代では、空気感染する不治の病として人々に恐れられていた。

13歳のイールはこの街でたった1人で生きている。彼はある理由から金が必要で郵便配達や廃品回収をしながら、生計を立てている。

「青い恐怖」が爆発的に広がる街で彼が出会ったのは、伝染病を研究するスノウ博士。博士はこの病の原因はよごれた水ではないかと考えていた。

イールは博士の助手として働くことになるが…。

実在の事件や人物を登場させた歴史ミステリー。

イールの初恋と友情の物語でもある。



## 『紙の心』

エリーザ・プリチェッリ・グエッラ//岩波書店//97-プ



図書室の本にはさまれた手紙を見つけた少年と、差出人の少女。二人は直接会わないという約束を交わして、文通を始める。自分のこと、友だちのこと、なやみ…。顔も名前もわからない相手に心を打ち明け、互いにひかれていく。少年と少女のやりとりする手紙だけで物語は進んでいくが、その内容から二人がいるのは「研究所」で、そこに家族はおらず、十代の子どもばかりが暮らしているという不思議な日常がかいま見られる。「研究所」にかくされた秘密と二人の正体とは。恋愛、冒険、なぞとき、もりだくさんの青春小説。

## 『その魔球に、まだ名はない』

### 女子のための4か条

### エレン・クレイジス//あすなろ書房//93-ク

- ・クモを見ても悲鳴をあげない
- ・自分の頭で考える
- ・つねになぜと考える
- ・平凡でいいなんて、  
ぜったい思っちゃダメ



ケイティは草野球チームのエースピッチャー。だれもがあこがれ、まねをしたがる魔球をあやつり、相手チームの三振をうばう。ケイティのピッチングを目にしたリトルリーグのコーチは、入団試験を受けないかとスカウトする。みごと試験に合格し、メジャーリーガーへの第一歩！と心をおどらせるケイティだが、一転して合格取消の知らせが来る。理由はケイティが女の子だったから。

コーチは彼女を男子だと思い込み、スカウトしたのだという。納得できないケイティは、家族のアドバイスをもらいながら、アメリカの野球の歴史を調べ始める。

1950年代、自由を求めて行動する女子たちをえがく、力強い物語。

## 『雪の写真家 ベントレー』BL出版//P-マ

### ジャクリーン・ブリッグズ・マーティン作 メアリー・アゼアリアン絵



アメリカの雪深い地域にある、小さな農村に生まれたウィリー。小さなころから自然が大好きで、中でもけんびきょうで雪の結晶を見るのが一番の楽しみでした。彼は17歳の時に両親から10頭の乳牛よりも高価なカメラを買ってもらい、生涯を雪の研究と結晶の写真さつえいにささげました。家族の理解と愛情にささえられ、ウィリーは世界的に有名な「雪の専門家」になったのです。大好きなものについて一生勉強し続けた、ウィリー・ベントレーの伝記絵本。



## 『絵物語 古事記』富安陽子//偕成社//91

『古事記』は現存する最も古い歴史書です。

神様同士のビッグカップル、イザナキとイザナミが結婚し、国を生むところから始まり、八つの頭を持つ妖怪ヤマタノオロチと戦ったスサノオの話、サメをだまそうとしたいなばの白うさぎの話など、有名な神話がたくさんあります。

ここに登場する神様たちはみんな、泣いたり怒ったり、自分勝手だったり、けんかをしたり、だましあったり…と、感情豊かで人間味があります。遠い過去の世界で、いっしょに冒険しているような気持ちになれます。



## 『ジャングル・ブック』

ラドヤード・キプリング//岩波書店//93-キ

インドの森の中、オオカミ夫婦の元に転がり込んできたのは人間の赤ちゃん。オオカミの兄弟といっしょに乳を飲み、ヒグマのバルーと黒ヒョウのバキーラからジャングルのおきてや生活の知恵を学ぶ。モウグリと名づけられた少年はやがてたくましく成長し、人間にうらみをもつトラ、シア・カーンとの対決を経て、自らの居場所を勝ち得るが、ジャングルと人間社会との間で心はゆれ動く。

ディズニー映画でおなじみの『ジャングル・ブック』の原作。登場する動物たちはけっして「なかよしこよし」ではなく、互いに尊重し合いながら独立し生きている。動物たちの気高く自由な生きざまから、人間は何を学ぶだろう？



## 『モンタギューおじさんの怖い話』

クリス・プリーストリー//理論社//93-プ



怖い話が聞きたくて、変わり者のモンタギューおじさんの家へと通うエドガー。古い家具やぶきみな人形にかこまれた部屋で、おじさんは静かに語りはじめる。

呪われた木、開かずのドア、死者の魂をよびよせる降霊会、悪魔や精霊の話…。時間がすぎるのもわすれるほど、おじさんの話に夢中になるエドガー。そして最後の一つは、おじさん自身のひみつにまつわる話。

寒い冬をさらに寒くする、背筋の凍るような怖い話のつめあわせ！

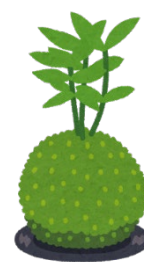


## 『こども禅の言葉』 柘野俊明//柘出版社//18

悩み：悪口や、いやな言い方をする友だちがいます。

禅語：淡交…たんととあっさり交際する。

こども訳：相手にしないで聞き流してしまおう。



「禅」とはインド人のお坊さんが開いた仏教の宗派の一つです。その教えは、くもりのない、美しい、素直な心で、正しく、清々しく、元気に、しっかり生きること。

この本は、「クラスのいじめを止めたい」「給食を食べるのがおそい」「もっとゲームがしたい」「好きな子にふりむいてもらえない」「将来、何になりたいのかわからない」などの悩みを解決するためのヒントとして書かれたものです。

心の中にある、不安や悩みに禅の言葉がやさしくよりそいます。